

# 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト(案)」に対する意見提出

2015年1月11日 日本緑化工学会

該当箇所（意見ごとによどの箇所かわかるように記載）

資料番号 (いずれかに○)	分類群 (いずれかに○) (個別の種の場合はno/種名を記載)	項目 (いずれかに○) ※資料1にある項目については、資料2-1/2-2からは省略しています	
○資料1 資料2-1 資料2-2	○植物 No. _____ 種名 _____	資料1	カテゴリ/和名/学名/特に問題となる地域や環境 (※植物のみ) /選定理由/定着段階/対策優先度の要件/備考
		資料2-1/2-2	評価項目/原産地や分布/日本での分布/生息・生育環境など/利用状況/利用上の留意事項/備考/抽出根拠/文献等
		その他	

・意見及び理由

意見	理由 (意見の根拠となる出典等があれば添付又は併記)
<p>緑化植物に関しては、3省庁の調査検討（平成17、18年度）に調査対象種として45種を選定したはずである。調査対象種45種と本リスト掲載種とは異なっており調査・検討の経過がわかりにくい。リストアップしていない緑化植物は、生物多様性保全上重要な地域に使用しても良いと言った解釈が危惧される。本リストの緑化植物はどのようにリストアップしたのかを明確に説明し、リスト漏れの緑化植物を「継続的な観察が必要な種」などとして掲載するほか、今後どのように扱うのか付加情報として示すようにして頂きたい。</p>	<p>(参考) 平成17年度外来生物による被害の防止等に配慮した緑化植物取扱方針検討調査報告書（環境省など）</p>

該当箇所

資料番号 (いずれかに○)	分類群 (いずれかに○) (個別の種の場合はno/種名を記載)	項目 (いずれかに○) ※資料1にある項目については、資料2-1/2-2からは省略しています	
○資料1 資料2-1 資料2-2	○植物 No. _____ 種名 _____	資料1	カテゴリ/和名/学名/特に問題となる地域や環境 (※植物のみ) /選定理由/定着段階/対策優先度の要件/備考
		資料2-1/2-2	評価項目/原産地や分布/日本での分布/生息・生育環境など/利用状況/利用上の留意事項/備考/抽出根拠/文献等
		その他	

・意見及び理由

意見	理由（意見の根拠となる出典等があれば添付又は併記）
<p>カテゴリ について 「定着を予防する外来種（定着予防種）」 →「未侵入または侵入したが未定着の外来種」として頂きたい。</p>	<p>名称がわかりにくいので、わかりやすい名称にして頂きたい</p>
<p>カテゴリ について 「評価を行ったものの掲載種（案）としなかった種」 について その理由を補足するとともに「継続的な観察が必要な種」として 公表してはどうか？</p>	<p>「検討対象にしたが掲載しなかった種」はつまり「情報不足なので引き続き情報収集に努める」もしくは「今後の推移を見守る必要がある」種であると考え。利用されている種も多いので、しっかりリストアップして今後の情報提供・研究の継続を呼びかけた方がよいと考える。</p>
<p>カテゴリ について 掲載種のうち、「利用状況」が「観賞用」「園芸用」と記載のある種は「逸出防止種（定着予防外来種）」もしくは「産業管理外来種」とすべきである</p>	<p>リスト掲載種は「防除等の対象となる」と方針が示されている以上、園芸店などでの販売はどうするのか等の指針も必要となる。利用状況が「観賞用」となっており、産業利用のうち主に園芸・造園・観賞用として利用されている種については対応を決め、わかりやすくわけた方がよい（自宅の庭で育てることは問題にならない等）。産業管理できない場合は用いない、自然条件下へは逸出しないようにする等対応が必要な状況を明確に記載すべきである。造園・観賞用植物の逸出が半自然地域の在来種のハビタットに影響を与えている可能性を否定できない</p>

該当箇所

資料番号 (いずれかに○)	分類群 (いずれかに○) (個別の種の場合は no/種名を記載)	項目 (いずれかに○) ※資料1にある項目については、資料2-1/2-2からは省略しています	
○資料1 資料2-1 資料2-2	○植物 No. _____ 種名 _____	資料1	カテゴリ/和名/学名/特に問題となる地域や環境（※植物のみ）/選定理由/定着段階/対策優先度の要件/備考
		資料2-1/2-2	評価項目/原産地や分布/日本での分布/生息・生育環境など/利用状況/利用上の留意事項/備考/抽出根拠/文献等
		(その他)	

・意見及び理由

意見	理由（意見の根拠となる出典等があれば添付又は併記）
<p>特に問題となる地域や環境 について 「特に問題となる地域や環境」の名称 →「対応の検討が必要な地域・環境」として頂きたい</p>	<p>リストには一般の方々が普通に目にする植物がたくさん掲載されている。実効性を高めるためには、広く分布をしており一般的に見られるようになった植物は「産業管理外来種」として逸出管理をしっかりするのか、地域によっては問題となる種として「問題となる地域や環境」の記載をするか、どちらかにすることが必要である</p>

<p>特に問題となる地域や環境 について 「特に問題となる地域や環境」に「自然度の高い地域」を加えて頂きたい</p>	<p>資料 2-2 の「重要地域」項目にあたると思われるが、リスト（資料-1）への掲載がないと周知できないと考える。リストには一般の方々が普通に目にする植物がたくさん掲載されている。実効性を高めるためには地域区分の記載が必須である。</p>
--	--

該当箇所

資料番号 (いずれかに○)	分類群 (いずれかに○) (個別の種の場合はno/種名を記載)	項目 (いずれかに○) ※資料1にある項目については、資料2-1/2-2からは省略しています	
○資料1 資料2-1 資料2-2	○植物 No. 掲載外 種名 キバナノコウリタンポポ	資料1	カテゴリー/和名/学名/特に問題となる地域や環境 (※植物のみ) /選定理由/定着段階/対策優先度の要件/備考
		その他	

・意見及び理由

意見	理由 (意見の根拠となる出典等があれば添付又は併記)
<p>掲載外 → その他の総合的に対策が必要な外来種 (総合対策種) として頂きたい。北海道, 東北で拡大傾向あり。</p>	<p>(参照: 北海道ブルーリスト (ランク A2)、Assessing the Economic, Environmental, and Societal Losses from Invasive Plants on Rangeland and Wildlands, Weed Technology. 2004. Volume 18:1411-1416 など) 導入の原因: 芝生などの種子に混入して拡大 定着可能性: 北海道では, 手稲山やトマム山のような標高 1000 m 程度の冷涼で日当たりの良い場所, 例えばスキー場や法面などの草地に侵入し, 拡大を続けている。コウリタンポポやブタナと同じロゼット型の生育形を持つので, 一旦侵入すると刈取りによる防除は極めて困難と思われる。北海道では人為的改変が行われているスキー場等でも在来の植物が比較的多いため, 拡大する前に防除することが望ましい。 利用状況: 産業利用は見当たらない。ただ, 札幌市内の民間が経営する植物園では, 近縁の侵略的植物であるコウリタンポポが花壇に植栽展示されていたので, キバナノコウリタンポポでもその恐れはある。</p>

該当箇所

資料番号 (いずれかに○)	分類群 (いずれかに○) (個別の種の場合はno/種名を記載)	項目 (いずれかに○) ※資料1にある項目については、資料2-1/2-2からは省略しています	
○資料1 資料2-1 資料2-2	○植物 No. 掲載外 種名 ノラニンジン	資料1	カテゴリ/和名/学名/特に問題となる地域や環境 (※植物のみ) /選定理由/定着段階/対策優先度の要件/備考
		その他	

・意見及び理由

意見	理由 (意見の根拠となる出典等があれば添付又は併記)
掲載外 → その他の総合的に対策が必要な外来種(総合対策種)として頂きたい。 北海道、東北で拡大傾向あり。	(参照：・北海道ブルーリスト (ランク A3)、・ Evaluation of gene flow and its environmental effects in the field, Plant Biotechnology 22, 497-504 (2005) など) 導入の原因：ニンジンの野生化説、他の種子に混入しての移入説などがある 定着可能性：北海道では、道路沿いに密度の高い大群落を形成しているのを見かけ、近年住宅地内の空き地でも見かけることが多くなった。青森県でも同様に、道路沿いに密度の高い大群落を見た。速やかに防除しておくことが望ましい。ただし、適湿地や林内への侵入は見たことが無いので、道路沿いや空き地などの人為的攪乱の程度の大きい場所のみに定着するのなら、在来種への影響は大きくないのかも知れない。経過観察に注意する必要があると考える。 利用状況：産業利用は確認できていない。

該当箇所

資料番号 (いずれかに○)	分類群 (いずれかに○) (個別の種の場合はno/種名を記載)	項目 (いずれかに○) ※資料1にある項目については、資料2-1/2-2からは省略しています	
○資料1 資料2-1 資料2-2	○植物 No. 掲載外 種名コバナヒメハギ (カスミヒメハギ)	資料1	カテゴリ/和名/学名/特に問題となる地域や環境 (※植物のみ) /選定理由/定着段階/対策優先度の要件/備考
		その他	

・意見及び理由

意見	理由 (意見の根拠となる出典等があれば添付又は併記)
掲載外 → 「定着予防種」もしくは「継続的な観察が必要な種」として掲載して頂きたい (定着段階：D小笠原・南西諸島 として)	交配の恐れがある種にはあたらないが、小笠原諸島ではすでに定着しているほか、インドネシア等グローバルに見ると急速に生育を拡大しており、熱帯から暖温帯への侵入が懸念される。特に荒廃地、工事などで荒れた場所を好むため開発行為に伴う侵入の可能性が高く、危険であると考え。特に小笠原、南西諸島などの生物多様性保全上重要な地域での拡大を懸念する。少なくとも経過の観察をした方がよいと考える。

該当箇所

資料番号 (いずれかに○)	分類群 (いずれかに○) (個別の種の場合は no/種名を記載)	項目 (いずれかに○) ※資料1にある項目については、資料2-1/2-2からは省略しています	
○資料1 資料2-1 資料2-2	○植物 No. 掲載外 種名 外国産コマツナギ, ヤマハギ, メドハギ, ススキ, イタドリ, ヨモギ	資料1	カテゴリ/和名/学名/特に問題となる地域や環境 (※植物のみ) /選定理由/定着段階/対策優先度の要件/備考
		その他	

・意見及び理由

意見	理由 (意見の根拠となる出典等があれば添付又は併記)
掲載外 → 「国内に自然分布域を持つ国外由来の外来種等」 もしくは「産業管理外来種」として掲載して頂きたい。 今回掲載を見送る場合は「評価を行ったものの掲載種 (案) としなかった種 (「継続的な観察が必要な種」)」として記載をお願いしたい。	不可逆的な影響を重要視するのであれば、詳細分析がこれからだとしても、外国産の在来種を取り上げるべきである。行動計画と合わせ、管理や侵入防止の対応を推進すべきである と考える。 委員会でも議論はして頂いたようなので「評価対象となった」ことだけでも掲載して頂きたい。

該当箇所

資料番号 (いずれかに○)	分類群 (いずれかに○) (個別の種の場合は no/種名を記載)	項目 (いずれかに○) ※資料1にある項目については、資料2-1/2-2からは省略しています	
○資料1 資料2-1 資料2-2	○植物 No. 58 種名 イタチハギ (クロバナエンジュ)	資料1	カテゴリ/和名/学名/特に問題となる地域や環境 (※植物のみ) /選定理由/定着段階/対策優先度の要件/備考
		その他	

・意見及び理由

意見	理由 (意見の根拠となる出典等があれば添付又は併記)
重点対策種 → 産業管理外来種 にすべきである (掲載前に対応が必要)	リストへの掲載を反対するものではないが、「治山技術基準の緑化植物」、「市場単価の主体種子」として掲載されているため、この対応を済ませてから「対策種」へのカテゴリ変更をするべきである。 (出典：平成21年度版治山技術基準解説 総則・山地治山編, (社) 日本治山治水協会, 土木施工単価, (財) 経済調査会, 土木コスト情報, (財) 建設物価調査会 など)

該当箇所

資料番号 (いずれかに○)	分類群 (いずれかに○) (個別の種の場合は no/種名を記載)	項目 (いずれかに○) ※資料1にある項目については、資料2-1/2-2からは省略しています	
○資料1 資料2-1 資料2-2	○植物 No. 42 種名 シュッコルピナス No. 63 種名 ツルニチニチソウ No. 64 種名 外来ノアサガオ類 No. 95 種名 モミジバヒルガオ No. 96 種名 ヒメイワダレソウ No. 114 種名 ムシトリナデシコ No. 120 種名 セイヨウカラシナ (カラシナ) No. 144 種名 コウリントンポポ No. 145 種名 フランスギク	資料1	カテゴリー和名/学名/特に問題となる地域や環境 (※植物のみ) /選定理由/定着段階/対策優先度の要件/備考
		その他	

・意見及び理由

意見	理由 (意見の根拠となる出典等があれば添付又は併記)
おもな利用状況が「観賞用」であり、園芸用として一般的に多く利用されている種はカテゴリーをまとめて「逸出防止種 (定着予防外来種)」もしくは「産業管理外来種」、もしくは「継続的な観察が必要な種」のようにして対応を明確化して頂きたい。被害があるようならば産業管理種にすべきだと考える。	園芸用・観賞用に多様されている種である。リスト掲載種は「防除等の対象となる」と明確に方針が示されている以上、掲載するからには園芸店などでの販売はどうするのか等の指針も必要となる (行動計画に園芸用植物に対する対応はほとんど言及されていない)。利用状況が「観賞用」である掲載種は、産業利用のうち主に園芸・造園・観賞用として利用されている種が多いので、同じカテゴリーとした方がわかりやすい (自宅の庭で育てることは問題にならない、等)。管理できない場合は用いない、自然条件下へは逸出しないようにする、等対応が必要な状況を明確に記載すべきである。造園・観賞用の植物の逸出は半自然地域の在来種のハビタットに影響を与えている可能性を否定できない

該当箇所

資料番号	分類群 (個別の種の場合は no/種名を記載)	項目 (いずれかに○) 資料1にある項目については、資料2-1/2-2からは省略
○資料1 資料2-1 資料2-2	○植物 No. 117 種名 ヒイラギナンテン	資料1 <u>カテゴリー</u> /和名/学名/特に問題となる地域や環境 (※植物のみ) /選定理由/定着段階/対策優先度の要件/備考 その他

・意見及び理由

意見	理由 (意見の根拠となる出典等があれば添付又は併記)
掲載するのであれば、その他の総合対策種 → 産業管理外来種 にすべきである	造園の市場単価に掲載されており、公共事業等にも使用されている。全国で広く園芸種として使用されており、使用の規制は難しい。「産業管理対策種」として管理方法を指定するなどして対応すべきである (出典: 建設物価 2014.6月号, 建設物価調査会)

該当箇所

資料番号	分類群 (個別の種の場合は no/種名を記載)	項目 (いずれかに○) 資料1にある項目については、資料2-1/2-2からは省略
○資料1 資料2-1 資料2-2	○植物 No. 123 種名 エニシダ	資料1 <u>カテゴリー</u> /和名/学名/特に問題となる地域や環境 (※植物のみ) /選定理由/定着段階/対策優先度の要件/備考 その他

・意見及び理由

意見	理由 (意見の根拠となる出典等があれば添付又は併記)
その他の総合対策種 → 産業管理外来種 にすべきである (掲載前に対応が必要)	リストへの掲載を反対するものではないが、「治山技術基準の緑化植物」として掲載されているため、この対応を済ませてから「対策種」へのカテゴリ変更をするべきである。 (出典: 平成21年度版治山技術基準解説 総則・山地治山編, (社)日本治山治水協会)

該当箇所

資料番号	分類群 (個別の種の場合は no/種名を記載)	項目 (いずれかに○) 資料1にある項目については、資料2-1/2-2からは省略
○資料1 資料2-1 資料2-2	○植物 No. 183 種名 ドクムギ属 (ライグラス類)	資料1 <u>カテゴリー</u> /和名/学名/特に問題となる地域や環境 (※植物のみ) /選定理由/定着段階/対策優先度の要件/備考 その他

・意見及び理由

意見	理由 (意見の根拠となる出典等があれば添付又は併記)
ドクムギ属 (ライグラス類) では植物種が判らないため、リスト上 (資料1) でも流通名のイタリアンライグラス, ペレニアルライグラスなどと表記を追加して頂きたい。	資料2-2 備考には流通名の記載あり。

該当箇所

資料番号	分類群（個別の種の場合は no/種名を記載）	項目（いずれかに○） 資料1にある項目については、資料2-1/2-2からは省略	
資料1 資料2-1 ○資料2-2	○植物 No. 58 種名 イタチハギ（クロバナエンジュ）	資料1	カテゴリ/和名/学名/特に問題となる地域や環境（※植物のみ）/選定理由/定着段階/対策優先度の要件/備考
		資料2-1/2-2	評価項目/原産地や分布/日本での分布/生息・生育環境など/利用状況/利用上の留意事項/備考/抽出根拠/文献等
			その他

・意見及び理由

意見	理由（意見の根拠となる出典等があれば添付又は併記）
利用状況の「緑化植物として～」の文章は次のように書き換えて頂きたい → 「1990年代を中心に、広く斜面緑化用植物として使用されてきたが、要注外来生物リストへの掲載、道路土工指針一切土工斜面安定工指針（平成21年度版）の主な植物より削除などにより、使用が減少した。一部の指針類には掲載され、なお少量が使用されている。」	（参照資料）「平成21年度版治山技術基準解説 総則・山地治山編」（社）日本治山治水協会、「土木施工単価」（財）経済調査会、「土木コスト情報」（財）建設物価調査会 など

該当箇所

資料番号	分類群（個別の種の場合は no/種名を記載）	項目（いずれかに○） 資料1にある項目については、資料2-1/2-2からは省略	
資料1 資料2-1 ○資料2-2	○植物 No. 58 種名 イタチハギ（クロバナエンジュ）	資料1	カテゴリ/和名/学名/特に問題となる地域や環境（※植物のみ）/選定理由/定着段階/対策優先度の要件/備考
		資料2-1/2-2	評価項目/原産地や分布/日本での分布/生息・生育環境など/利用状況/利用上の留意事項/備考/抽出根拠/文献等
			その他

・意見及び理由

意見	理由（意見の根拠となる出典等があれば添付又は併記）
「利用状況」もしくは「備考」に、以下の情報を追加して頂きたい。 → 「・治山技術基準の緑化植物の一覧に掲載されている。 ・市場単価の主体種子として掲載されている。」	以下に掲載されており、明記が必要である。 「平成21年度版治山技術基準解説 総則・山地治山編」（社）日本治山治水協会、「土木施工単価」（財）経済調査会、「土木コスト情報」（財）建設物価調査会 など



該当箇所

資料番号	分類群 (個別の種の場合は no/種名を記載)	項目 (いずれかに○) 資料1にある項目については、資料2-1/2-2からは省略	
資料1 資料2-1 ○資料2-2	○植物 No. 81 種名 シナダレスズメガヤ (ウィーピングラブグラス)	資料1	カテゴリ/和名/学名/特に問題となる地域や環境 (※植物のみ) /選定理由/定着段階/対策優先度の要件/備考
		資料2-1/2-2	評価項目/原産地や分布/日本での分布/生息・生育環境など/利用状況/利用上の留意事項/備考/抽出根拠/文献等
			その他

・意見及び理由

意見	理由 (意見の根拠となる出典等があれば添付又は併記)
「利用状況」もしくは「備考」に、以下の情報を追加して頂きたい。 → 「土木工事の技術基準や市場単価には掲載されておらず、現在は公共事業では利用されていない。」	

該当箇所 (意見ごとどの箇所かわかるように記載)

資料番号	分類群 (個別の種の場合は no/種名を記載)	項目 (いずれかに○) 資料1にある項目については、資料2-1/2-2からは省略	
資料1 資料2-1 ○資料2-2	○植物 No. 100 種名 カライタドリ	資料1	カテゴリ/和名/学名/特に問題となる地域や環境 (※植物のみ) /選定理由/定着段階/対策優先度の要件/備考
		資料2-1/2-2	評価項目/原産地や分布/日本での分布/生息・生育環境など/利用状況/利用上の留意事項/備考/抽出根拠/文献等
			その他

・意見及び理由

意見	理由 (意見の根拠となる出典等があれば添付又は併記)
「日本では、法面緑化工事に利用」を以下のように修正願いたい。 → 「日本の在来種であるイタドリなどと混同して利用されている可能性がある。現在産業利用されているイタドリの多くは外国産 (カライタドリの原産地である韓国、中国などから輸入された外国産) であり、注意が必要。」	イタドリの学名と同じだった時期があったためか ( <i>Reynoutria japonica</i> の時)、海外の種苗業者や現場採種業者の認識でイタドリとカライタドリが混同されている場合がある (種苗会社からの聞き取り情報)

該当箇所（意見ごとにどの箇所かわかるように記載）

資料番号	分類群（個別の種の場合は no/種名を記載）	項目（いずれかに○） 資料1にある項目については、資料2-1/2-2からは省略	
資料1 資料2-1 ○資料2-2	○植物 No. 117 種名 ヒイラギナンテン	資料1	カテゴリ/和名/学名/特に問題となる地域や環境/選定理由/定着段階/対策優先度の要件/備考
		資料2-1/2-2	評価項目/原産地や分布/日本での分布/生息・生育環境など(利用状況)利用上の留意事項/備考/抽出根拠/文献等
		その他	

・意見及び理由

意見	理由（意見の根拠となる出典等があれば添付又は併記）
「利用状況」もしくは「備考」に、以下の情報を追加して頂きたい。 → 国土交通省の「公共用緑化樹木等」に掲載されており、全国的に流通している。	以下に掲載されており、明記が必要である。 ・「建設物価 2014.6月号」建設物価調査会

該当箇所（意見ごとにどの箇所かわかるように記載）

資料番号	分類群（個別の種の場合は no/種名を記載）	項目（いずれかに○） 資料1にある項目については、資料2-1/2-2からは省略	
資料1 資料2-1 ○資料2-2	○植物 No. 123 種名 エニシダ	資料1	カテゴリ/和名/学名/特に問題となる地域や環境/選定理由/定着段階/対策優先度の要件/備考
		資料2-1/2-2	評価項目/原産地や分布/日本での分布/生息・生育環境など(利用状況)利用上の留意事項/備考/抽出根拠/文献等
		その他	

・意見及び理由

意見	理由（意見の根拠となる出典等があれば添付又は併記）
「利用状況」もしくは「備考」に、以下の情報を追加して頂きたい。 → 「・治山技術基準の緑化植物の一覧に掲載されている。」	以下に掲載されており、明記が必要である。 ・平成21年度版治山技術基準解説 総則・山地治山編（社）日本治山治水協会

該当箇所（意見ごとにどの箇所かわかるように記載）

資料番号	分類群（個別の種の場合は no/種名を記載）	項目（いずれかに○） 資料1にある項目については、資料2-1/2-2からは省略	
資料1 資料2-1 ○資料2-2	○植物 No. 180 種名 コヌカグサ（レッドトップ）	資料1	カテゴリ/和名/学名/特に問題となる地域や環境/選定理由/定着段階/対策優先度の要件/備考
		資料2-1/2-2	評価項目/原産地や分布/日本での分布/生息・生育環境など(利用状況)利用上の留意事項(備考)抽出根拠/文献等
		その他	

・意見及び理由

意見	理由（意見の根拠となる出典等があれば添付又は併記）
「利用状況」もしくは「備考」に、以下の情報を追加して頂きたい。 → 「・治山技術基準の緑化植物の一覧に掲載されている。 ・市場単価の主体種子として掲載されている。」	以下に掲載されており、明記が必要である。 ・「平成21年度版治山技術基準解説 総則・山地治山編」（社）日本治山治水協会 ・「土木施工単価」（財）経済調査会 ・「土木コスト情報」（財）建設物価調査会 など

該当箇所（意見ごとにどの箇所かわかるように記載）

資料番号	分類群（個別の種の場合は no/種名を記載）	項目（いずれかに○） 資料1にある項目については、資料2-1/2-2からは省略	
資料1 資料2-1 ○資料2-2	○植物 No. 181 種名 カモガヤ（オーチャードグラス）	資料1	カテゴリ/和名/学名/特に問題となる地域や環境/選定理由/定着段階/対策優先度の要件/備考
		資料2-1/2-2	評価項目/原産地や分布/日本での分布/生息・生育環境など(利用状況)利用上の留意事項(備考)抽出根拠/文献等
		その他	

・意見及び理由

意見	理由（意見の根拠となる出典等があれば添付又は併記）
「利用状況」もしくは「備考」に、以下の情報を追加して頂きたい。 → 「・道路土工指針の播種用植物の一覧に掲載されている。 ・治山技術基準の緑化植物の一覧に掲載されている。 ・市場単価の主体種子として掲載されている。」	以下に掲載されており、明記が必要である。 ・「道路土工 切土工・斜面安定工指針（平成21年度版）」（社）日本道路協会、 ・「平成21年度版治山技術基準解説 総則・山地治山編」（社）日本治山治水協会、 ・「土木施工単価」（財）経済調査会、「土木コスト情報」（財）建設物価調査会など

該当箇所（意見ごとにどの箇所かわかるように記載）

資料番号	分類群（個別の種の場合は no/種名を記載）	項目（いずれかに○） 資料1にある項目については、資料2-1/2-2からは省略	
資料1 資料2-1 ○資料2-2	○植物 No. 182 種名 オニウシノケグサ (トールフェスク)	資料1	カテゴリ/和名/学名/特に問題となる地域や環境/選定理由/定着段階/対策優先度の要件/備考
		資料2-1/2-2	評価項目/原産地や分布/日本での分布/生息・生育環境など(利用状況)利用上の留意事項(備考)抽出根拠/文献等
			その他

・意見及び理由

意見	理由（意見の根拠となる出典等があれば添付又は併記）
「利用状況」もしくは「備考」に、以下の情報を追加して頂きたい。 → 「・道路土工指針の播種用植物の一覧に掲載されている。 ・治山技術基準の緑化植物の一覧に掲載されている。 ・市場単価の主体種子として掲載されている。」	以下に掲載されており、明記が必要である。 ・「道路土工 切土工・斜面安定工指針（平成21年度版）」（社）日本道路協会、 ・「平成21年度版治山技術基準解説 総則・山地治山編」（社）日本治山治水協会、 ・「土木施工単価」（財）経済調査会、「土木コスト情報」（財）建設物価調査会など

該当箇所（意見ごとにどの箇所かわかるように記載）

資料番号	分類群（個別の種の場合は no/種名を記載）	項目（いずれかに○） 資料1にある項目については、資料2-1/2-2からは省略	
資料1 資料2-1 ○資料2-2	○植物 No. 183 種名 ドクムギ属（ライグラス類）の うち「ペレニアルライグラス」	資料1	カテゴリ/和名/学名/特に問題となる地域や環境/選定理由/定着段階/対策優先度の要件/備考
		資料2-1/2-2	評価項目/原産地や分布/日本での分布/生息・生育環境など(利用状況)利用上の留意事項(備考)抽出根拠/文献等
			その他

・意見及び理由

意見	理由（意見の根拠となる出典等があれば添付又は併記）
「利用状況」もしくは「備考」に、以下の情報を追加して頂きたい。 → 「・道路土工指針の播種用植物の一覧に掲載されている。 ・治山技術基準の緑化植物の一覧に掲載されている。 ・市場単価の主体種子として掲載されている。」	以下に掲載されており、個別に明記が必要である。 ・「道路土工 切土工・斜面安定工指針（平成21年度版）」（社）日本道路協会、 ・「平成21年度版治山技術基準解説 総則・山地治山編」（社）日本治山治水協会、 ・「土木施工単価」（財）経済調査会、「土木コスト情報」（財）建設物価調査会など

該当箇所（意見ごとにどの箇所かわかるように記載）

資料番号 (いずれかに○)	分類群 (いずれかに○) (個別の種の場合はno/種名を記載)	項目 (いずれかに○) ※資料1にある項目については、資料2-1/2-2からは省略	
資料1 資料2-1 ○資料2-2	○植物 No. 183 種名 <u>ドクムギ属 (ライグラス類) の</u> <u>うち「イタリアンライグラス」</u>	資料1	カテゴリ/和名/学名/特に問題となる地域や環境/選定理由/定着段階/対策優先度の要件/備考
		資料2-1/2-2	評価項目/原産地や分布/日本での分布/生息・生育環境など(利用状況)利用上の留意事項(備考)抽出根拠/文献等
		その他	

・意見及び理由

意見	理由 (意見の根拠となる出典等があれば添付又は併記)
「利用状況」もしくは「備考」に、以下の情報を追加して頂きたい。 → 「・治山技術基準の緑化植物の一覧に掲載されている。 ・市場単価の主体種子として掲載されている。」	以下に掲載されており、個別に明記が必要である。 ・「平成21年度版治山技術基準解説 総則・山地治山編」(社)日本治山治水協会, ・「土木施工単価」(財)経済調査会,「土木コスト情報」(財)建設物価調査会など

該当箇所（意見ごとにどの箇所かわかるように記載）

資料番号 (いずれかに○)	分類群 (いずれかに○) (個別の種の場合はno/種名を記載)	項目 (いずれかに○) ※資料1にある項目については、資料2-1/2-2からは省略	
資料1 資料2-1 ○資料2-2	○植物 No. 184 種名 <u>オオアワガエリ (チモシー)</u>	資料1	カテゴリ/和名/学名/特に問題となる地域や環境/選定理由/定着段階/対策優先度の要件/備考
		資料2-1/2-2	評価項目/原産地や分布/日本での分布/生息・生育環境など(利用状況)利用上の留意事項(備考)抽出根拠/文献等
		その他	

・意見及び理由

意見	理由 (意見の根拠となる出典等があれば添付又は併記)
「利用状況」もしくは「備考」に、以下の情報を追加して頂きたい。 → 「・治山技術基準の緑化植物の一覧に掲載されている。 ・市場単価の主体種子として掲載されている。」	以下に掲載されており、明記が必要である。 ・「平成21年度版治山技術基準解説 総則・山地治山編」(社)日本治山治水協会, ・「土木施工単価」(財)経済調査会,「土木コスト情報」(財)建設物価調査会など

該当箇所（意見ごとにどの箇所かわかるように記載）

資料番号 (いずれかに○)	分類群 (いずれかに○) (個別の種の場合は no/種名を記載)	項目 (いずれかに○) ※資料1にある項目については、資料2-1/2-2からは省略	
資料1	○植物 No. 188 種名 アメリカズメノヒエ (バヒアグラス)	資料1	カテゴリ/和名/学名/特に問題となる地域や環境/選定理由/定着段階/対策優先度の要件/備考
資料2-1 ○資料2-2		資料2-1/2-2	評価項目/原産地や分布/日本での分布/生息・生育環境など(利用状況/利用上の留意事項/備考/抽出根拠/文献等)
			その他

・意見及び理由

意見	理由 (意見の根拠となる出典等があれば添付又は併記)
「利用状況」もしくは「備考」に、以下の情報を追加して頂きたい。 → 「・道路土工指針の播種用植物の一覧に掲載されている。 ・市場単価の主体種子として掲載されている。」	以下に掲載されており、明記が必要である。 ・「道路土工 切土工・斜面安定工指針（平成21年度版）」（社）日本道路協会、 ・「土木施工単価」（財）経済調査会、「土木コスト情報」（財）建設物価調査会など